

告示番号	件名	
No	質疑事項	回答
	「生コンクリート品質低下防止対策指針」のP5 ⑪において、単水量試験が必要と判断される場合実施する事と有りますが、今回S-001図にも記載が無いため必要が無いものと考えてよろしいですか。	「生コンクリート品質低下防止対策指針」のP5 ⑪による単水量試験は本工事では行いません。
	A-001 2.仮設工事において、工事用水を構内既存施設より利用出来ないかと有りますが、構内既存施設にメータを付けて分岐し、有償での利用は出来ないでしょうか。	施設管理者、上下水道事業管理者との協議の上、可能であれば校内既設施設にメータを付けて分岐し有償で利用できるものとします。
	A-007-1 25.追記事項2 アルカリシリカ反応性試験、コア供試体の圧縮強度試験、塩化物量試験において、建築主事又は、確認検査員の指示がある場合に行うとありますが、今回見積もりには含まれ無いものとし、指示が有った場合は別途清算と考えてよろしいですか。	アルカリシリカ反応性試験、コア供試体の圧縮強度試験、塩化物量試験は建築主事からの指示がある場合に実施し、その費用は別途算定するものとします。
	AC-000 9.粉じん濃度測定 3.に記載の測定数は、石綿除去作業前、作業後、作業中の合計が11と考えるとよろしいですか。	AC-000 9. 粉じん濃度測定3.記載の測定点数は公共建築工事改修仕様書平成16年版(建築工事編)表9.1.1より各セキュリティ区画ごとに室面積が50㎡以下は18点、300㎡までは21点、300㎡を超えるものは監督職員と協議し決定します。なお、敷地境界測定点は記載のとおり別途11箇所測定するものとします。

## 質疑・回答書

告示番号		件 名	(仮称)豊中市第五中学校校舎改築工事(第二期)その2
No	質疑事項		回 答
1	<p style="text-align: center;">( 軀 体 )</p> <p>A-107 現況測量図・高低測量図を参照し、現況平均地盤＝設計GL+90と考えて宜しいでしょうか。</p>		建築基準法上の平均地盤面は、別添『平均地盤算定図』によります。
2	<p>S-001 構造特記仕様書(1)で5地業工事-③地盤改良が適用になっていますが、位置が不明です。地盤改良無しと考えて宜しいでしょうか。</p>		図面番号S-001 5地業工事3地盤改良(3)施工位置のとおり土間コンクリート下部は全て地盤改良を行います。

No	質疑事項	回 答
3	<p style="text-align: center;">( 内 装 )</p> A-011 仕上リストでW6の腰壁見切縁はタモ集成材と考えると宜しいでしょうか。	図面番号A-011仕上リスト W6の壁見切縁はタモ集成材を使用できるものとします。
4	A-011 仕上リストでW6の鋼製下地は25型と考えると宜しいでしょうか。	図面番号A-011仕上リスト W6の鋼製壁下地はオクジューJW-R工法25型同等以上とします。
5	A-011 仕上リストでF8の上り框はタモ集成材+OSCI塗と考えると宜しいでしょうか。	図面番号A-011仕上リスト F8の上り框は米楯上小節無塗装とします。
6	A-010,051 天井仕上C5とC6は下記のように相違しています。天井伏図を正と考えると宜しいでしょうか。 ・内部仕上表:C5は有孔シナ合板 C6はケイカル板 ・天井伏図:C5有孔シナ合板+WP C6はケイカル板+EP	天井仕上C5及びC6は図面番号A-051 2階天井伏図のとおりとします。
7	A-067 雑詳細図D-33で建具間仕切取合の方立はスチール製と考えると宜しいでしょうか。	A-067 雑詳細図D-33の建具間仕切取合の方立は木製額縁と同材・同仕上げとします。

No	質疑事項	回 答
8	A-011 仕上リストでB2の木製巾木は米楯上小節と考えると宜しいでしょうか。	図面番号A-011 仕上リストB2木製巾木の材種は米楯上小節とします。
9	A-011 仕上リストでB3の畳寄せは米楯無節と考えると宜しいでしょうか。	図面番号A-011 仕上リストB3畳寄の材種は米楯無節とします。
10	A-038 平面詳細図・展開図(6)で男子、女子職員休憩室のボード寄せは米楯無節20×45と考えると宜しいでしょうか。	図面番号A-038 平面詳細図・展開図(6)[職員休養室 他]-1で男子、女子職員休憩室のボード寄せは米楯無節20×45程度とします。
11	A-069-1 雑詳細図(4)D-58で押入の雑巾摺は米楯上小節と考えると宜しいでしょうか。	図面番号A-069-1 雑詳細図(4)D-58押入の雑巾摺は米楯上小節とします。
12	A-014,024 配管ピットの仕上は下記のように考えて宜しいでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・床:コンクリートコテ</li> <li>・壁:コンクリート打放補修素地</li> <li>・天井:押出法ポリスチレンフォーム保温板打込t-30</li> </ul>	図面番号A-014ピット図,A-024矩計詳細図(2)配管ピットの仕上げは 床:コンクリート金コテ押えの上パラテックス防水B-2工法 壁:コンクリート打放し補修の上パラテックス防水A-1工法 天井・梁型:押出法ポリスチレンフォーム保温板打込t-30とします。

No	質疑事項	回 答
13	A-014 ピット内釜場は防水モルタル仕上と考えて宜しいでしょうか。	図面番号A-014ピット内釜場は質疑No.12回答と同様とします。
14	A-011 仕上リストでWP4の屋内塗布防水の防水立上りはモルタル下地と考えて宜しいでしょうか。	図面番号A-011仕上リストWP4屋内塗布防水の立上りはモルタル下地とします。
15	A-011 仕上リストでW5.2LGS下地(W-き)の壁下地は耐水PB12.5ですが、W-きはGB-H12.5となっています。耐水PB12.5と考えて宜しいでしょうか。	W5.2LGS下地(W-き)は、GB-H12.5+耐水PB12.5+メラミン化粧版3.0とします。
16	A-011 仕上リストでW6.2LGS下地(W-い)は耐水PB12.5ですが、W-いはGB-R12.5+GB-H9.5となっています。耐水PB12.5+GB-H9.5と考えて宜しいでしょうか。	W6.2LGS下地(W-い)は耐水PB12.5+GB-H9.5とします。但しGB-H9.5は吉野石膏(株)タイガースーパーハード同等の防水性能を有するものとします。

No	質疑事項	回 答
17	<p style="text-align: center;">( 外 装 )</p> <p>A-066 雑詳細図(1)D-10目地1でRC壁のタイル張りには下地調整モルタルの記載がありますが、詳細が不明です。下地調整モルタル付無し、RC壁で直接打放補修+タイル張と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>下地調整モルタルは「公共建築工事標準仕様書 平成19年版」の15.2.5(C)によるものとします。</p>
18	<p>A-018,024 下記の工法、詳細が不明です。御指示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東立面図と南立面図: 凡例H押出成形セメント板t-60の上磁器質タイル45二丁掛(横貼)</li> <li>・矩計図詳細図(2)のD-D断面図: 押出成形セメント板t-60の上磁器質タイル張り</li> </ul> <p>又、磁器質タイル45二丁掛の参考メーカー・品番を御指示下さい。</p>	<p>押出成形セメント板 t60は(株)ノザワ アスロック(タイルベースパネル)同等以上とし、張付けはポリマーセメントモルタルとし、メーカーの推奨するものとします。</p> <p>磁器質タイル45二丁掛の参考メーカー・品番は(株)リクシル シュラ(円柱部50角は同ヴィーゼネクスト)同等以上とします。</p>
19	<p>A-015 1階平面詳細図でX15通、Y1通～Y2通の外壁仕上が不明です。打放補修+外装薄塗材Si-Aと考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>図面番号A-015 1階平面図X15通、Y1通～Y2通の外壁仕上は図面番号A-018立面図○凡例 A とします。</p>

No	質疑事項	回 答
20	<p>( 建 具 )</p> <p>A-002,003 特記仕様書(2)と(3)で防水工事と建具工事は建具廻りシーリングとガラスシーリングの材料が記載されていませんが、それぞれポリサルファイド系15×10、シリコン系と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>シーリング工事は図面特記なき限り公共建築工事標準仕様書平成19年版(建築工事編)9章防水工事6節シーリングによります。</p>
21	<p>A-054 建具表(1)でアルミ建具の額縁塗装のEP-G塗が記載されていますが、詳細が不明です。御指示下さい。</p>	<p>図面番号A-054建具表(1)のとおりです。</p>
22	<p>A-054,055 建具表(1)と(2)で木製額縁と木建枠の材料が不明です。F-101～103木建枠は米楯無節、他の木建枠と額縁は米楯上小節と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>図面番号A-054,055建具表(1)(2)の木製額縁の材種は米楯上小節、F101～103木製枠は米楯無節とします。</p>

No	質疑事項	回 答
23	<p style="text-align: center;">( 外 構 )</p> A-006 特記仕様書(6)-植栽工事で⑤幹巻き用材料は高木に各1ヶ所と考えて宜しいでしょうか。	公共建築工事標準仕様書平成19年版(建築工事編)23.3.3(e)によります。
24	A-102-1 屋外施設詳細図(2)で防球フェンス基礎が不明です。御指示下さい。	図面番号A-102-1GD-5防球ネットのとおりです。